

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

- ・包括担当エリアの高齢化率・高齢者独居世帯割合は区内でも高い。
- ・高齢者の中での要支援、要介護認定率が高く、制度利用の理解や意向が高い事がうかがえる。
- ・但し、認定者のうちの約9割近くの方が何らかの在宅サービスを利用しており、要支援認定者が要介護に悪化する傾向は少なく、比較的体調を維持されているエリアでもある。
- ・要支援認定者であっても地域のイベントやケアプラザ事業に参加されている方も多く、上記の裏付けとも読み取れる。
- ・山坂等起伏の大きい地形からお住まいの場所によっては集える場所への行きにくさがあり、身近なところで集まれる場所等を開拓していく必要があると認識している。
- ・また、認知症に関する相談は依然と大きく、地域の認知症への理解や認知症でも通える場所づくり活動を継続する方針である。
- ・地域の自治会や民児協等への支援については、引き続き、各職員が積極的に活動などに関わりながら支援していく。
- ・ひっとプラン4期の振返りと5期計画策定に向け、つながり作りの強化と新たな担い手の発見や確保について検討を重ねていく。

新規	継続	—具体的な取組内容—
----	----	------------

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|--|
| ☐ | ☒ | 【認知症支援事業】 <ul style="list-style-type: none">・認知症に関する啓発活動の継続（認知症サポーター養成講座等）・小中学校と協働した啓発活動により、その親に対しても認識を深めてもらう。・貸館団体への個別啓発活動・認知症であっても気軽に参加できる場づくり（増回した下田メモリーカフェ等）・チームオレンジ活動の啓発。・認知症初期集中支援チームとの連携。・適切なサービスへの結びつけ、民生等への情報提供（家族らの同意を得て）。・エンディングノートの啓発と実践。・任意後見制度等の啓発。 |
|--------------------------|-------------------------------------|--|

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|---|
| ☐ | ☒ | 【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none">・「きょういくきょうようプロジェクト」の浸透・ラジオ体操等、定期的に参加できる場の継続および開拓。・体力測定会等、自身を振り返る場の定期開催。・区域でのケアマネ向け研修の実施。・地域情報の提供。・より「参加のハードルを下げる」取組みとその工夫。 |
|--------------------------|-------------------------------------|---|

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

- ・介護予防団体の高齢化等による活動の停滞・終了に対して、講座を行い、複数の自主グループを誕生させることができた。
- ・ふらっと下田では定期的に参加される方も増え、「きょういく・きょうよう」の広がりが見られた。
- ・イメージキャラクターの誕生やケアプラザまつり等イベントを通じて新たな担い手との出会いや協力が得られた。
- ・チームオレンジの活動だけでなく、啓発活動（講演・当事者のお話）や認知症カフェの拡大等図れた。
- ・職員の欠員が続き、現場職員への負担が大きくなっている。

☐ 区からのコメント

地域のニーズを的確に把握し、事業や講演会などの取り組みに反映していただいており、素晴らしいことと感じています。認知症支援事業では新たな取り組みが工夫されており、今後も当事者や家族に寄り添った支援を期待しています。また、日頃から得られた地域の声や気づきを事業に生かし、新しいつながりや活動が生まれている点も地域にとって大きな力になっています。担い手の広がりや情報共有のさらなる充実に向けて、区としても関係部署との橋渡しや情報交換を通じて、引き続き一緒に進めていきたいと考えています。また、ひっとプラン港北の5期計画 地区別計画の策定に関して、下田地域ケアプラザの職員のみなさまと一緒に取り組むことが出来ました。令和8年度は、策定した計画を「推進」していくこととなりますので、引き続き一緒に取り組んでいきましょう。

令和7年度下田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	・指定管理者としての公正・中立性や福祉に携わる者として、法人倫理規定その他の方針・指針、毎年実施する「利用者アンケート」等を活用し、人権意識や維持向上に努めます。なお、各種ミーティングや事例検討の場も、自らの姿勢の振り返りの機会として役立てます。 ・日々得られる情報について、施設独自の広報紙やホームページ、さらには独自に行っているSNS(X)等、様々な情報発信媒体を利用することや、地域の会合や事業などにも参加して、直接の対話も心掛けながら、情報発信できるように努めます。 ・施設利用に関して、貸館や自主事業に誰もが分かりやすく利用参加できるよう、定例会議等を活用して、常に利用者への対応方法等を話し合い、適宜修正改善を重ねながら、利用者本位の施設を目指します。 ・毎月1回実施する貸館予約会の場で、公平中立の下、平等に利用予約手続きが行えるよう、各団体を支援していきます。	・施設内における定例の各種会議や事故防止委員会の場で振り返りや対策等を随時検討します。また、日々の職員ミーティングの場でもヒヤリハット他、細かな気付きも含めた情報を共有し、意識の高揚と事故防止に努めます。 ・横浜市より定期的に配信される、市内の事故報告や法人内事業所の事故事例やヒヤリハット等も、全職員が共有し、事故防止対策として活用します。 ・法令及び法人の個人情報規定に基づき、適切に対処すると共に、内部の各種会議等の場を活用して、全職員への研修を行い、注意喚起と意識啓発に努めます。また、定期的にマニュアルの点検も併せて行っていきます。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	本人の思いどおりの生活が送れるよう実現可能な目標に向かって、できないことを補うのではなく、本人の行動変容につながるよう環境を整え、生活機能低下の背景を分析・課題を明らかにして、悪循環から好循環に転換できるように支援します。また、地域の特性を活かした仕掛け作りを考え地域力を高めていきます。	利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標として、居宅サービス計画を作成し、サービスを総括的効率的に提供するための連絡調整を行います。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】 通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】 通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。
職員体制	社会福祉士:1人 看護師:1人 介護支援専門員:2人(非常勤)	介護支援専門員 2人(常勤専従2人)
契約者数	229人	82人

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者が自立した日常生活を営むこと及び利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。		
実施体制	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:15～16:20 【定員】 40人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 ●食費負担 750円/食 ●通常に事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費 1km(道程)まで片道 100円 2kmまで 200円 4kmまで 300円 4km超 400円 ●特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	生活相談員兼介護職員:3人 看護職員:4人 介護職員:14人 運転手:9人		
契約者数等	【延べ利用者数】 5595人 【契約者数】 48名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,370,470	1,259,694	21,630,164	20,856,164	774,000	横浜市より
内 受領額	20,370,470	1,259,694	21,630,164	21,630,164	0	
内 戻入額				△ 774,000	774,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	191,585	△ 191,585	
雑入	100,000	0	100,000	13,918	86,082	
内 印刷代	50,000		50,000	7,900	42,100	コピー代収入
内 自動販売機手数料	50,000		50,000	5,168	44,832	自動販売機手数料
内 その他			0	850	△ 850	公衆電話使用料
その他	3,793,101	△ 3,135,947	657,154	657,154	0	
収入合計	24,263,571	△ 1,876,253	22,387,318	21,718,821	668,497	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,806,082	165,000	13,971,082	10,714,749	3,256,333	法人本部経費を含む
内 本俸	12,156,082		12,156,082	9,460,657	2,695,425	給与支払額
内 社会保険料	1,350,000		1,350,000	937,968	412,032	社会保険料事業主負担分
内 手当計			0		0	
内 健康診断費	40,000		40,000	38,478	1,522	健康診断費
内 勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000	12,750	△ 2,750	ハマフレンド会費
内 退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	90,796	9,204	退職共済掛金事業主負担
内 その他	150,000		150,000	174,100	△ 24,100	
事務費	2,700,000	0	2,700,000	2,337,457	362,543	法人本部経費は含まない
内 旅費	30,000		30,000	18,941	11,059	職員 出張交通費
内 消耗品費	400,000		400,000	143,464	256,536	コピー用紙 文房具 ゴミ袋他
内 会議開い費	15,000		15,000	11,062	3,938	運営協議会 お茶代
内 印刷製本費			0		0	
内 通信費	323,000		323,000	179,072	143,928	携帯電話 固定電話 切手代
内 使用料及び賃借料	400,000	0	400,000	468,522	△ 68,522	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	21,120	△ 21,120	行政財産目的外使用料
内 内 その他	400,000		400,000	447,402	△ 47,402	10万円以上の契約 AED レンタルモップ他
内 備品購入費			0	5,102	△ 5,102	
内 図書購入費			0		0	
内 施設賠償責任保険	100,000		100,000	33,450	66,550	施設賠償責任保険
内 職員等研修費	20,000		20,000	6,033	13,967	職員研修参加費
内 振込手数料	40,000		40,000	3,281	36,719	給与 業者振込手数料
内 リース料			0		0	
内 手数料			0	440	△ 440	残高証明書発行手数料
内 地域協力費	3,600		3,600	3,600	0	自治会費
内 公租公課	1,150,000	0	1,150,000	1,261,392	△ 111,392	
内 事業所税			0		0	
内 消費税	1,150,000		1,150,000	1,261,392	△ 111,392	消費税他
内 印紙税			0		0	
内 その他			0		0	
内 その他	218,400		218,400	203,098	15,302	燃料費 社労士他顧問料 業務災害保険等
事業費	480,000	0	480,000	544,780	△ 64,780	法人本部経費は含まない
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	480,000		480,000	544,780	△ 64,780	
内 その他			0		0	
管理費	7,813,889	280,000	8,093,889	6,793,541	1,300,348	法人本部経費は含まない
内 光熱水費	4,293,889		4,293,889	4,765,900	△ 472,011	水道光熱費
内 清掃費	1,300,000		1,300,000	690,058	609,942	定期清掃
内 機械警備費	110,000		110,000	116,794	△ 6,794	機械警備費
内 設備保全費	1,730,400	0	1,730,400	823,994	906,406	
内 空調衛生設備保守	400,000		400,000	289,942	110,058	空調保守 冷暖房切り替え他
内 消防設備保守	100,000		100,000	121,660	△ 21,660	消防設備点検
内 電気設備保守	90,400		90,400	84,560	5,840	電気設備点検
内 害虫駆除清掃保守	40,000		40,000	35,039	4,961	殺虫消毒
内 駐車場設備保全費			0		0	
内 その他保全費	1,100,000		1,100,000	292,793	807,207	自動ドア 昇降機 総合設備巡視点検
内 共益費			0		0	
内 その他	379,600		379,600	396,795	△ 17,195	ゴミゼロ 植栽剪定 粗大ゴミ処理
修繕費	474,000	814,694	1,288,694	1,288,694	0	予算・指定額
太陽光パネル保守点検	39,600		39,600	39,600	0	太陽光パネル点検
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
内 内 内			0		0	
支出合計	25,313,571	1,259,694	26,573,265	21,718,821	4,854,444	
差引	△ 1,050,000	△ 3,135,947	△ 4,185,947	0	△ 4,185,947	

自主事業費 収入	0	0	0	191,585	△ 191,585	
自主事業費 支出	480,000	0	480,000	544,780	△ 64,780	
自主事業 収支	△ 480,000	0	△ 480,000	△ 353,195	△ 126,805	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	50,000	0	50,000	5,168	44,832	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	50,000	0	50,000	△ 15,952	65,952	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,949,911	581,230	26,531,141	22,885,341	3,645,800	横浜市より
内 受領額	25,949,911	581,230	26,531,141	26,531,141	0	
戻入額				△ 3,645,800	3,645,800	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	100,000		100,000		100,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,175,585	72,000	6,247,585	6,247,585	0	横浜市より
内 受領額	6,175,585	72,000	6,247,585	6,247,585	0	
戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	59,100	△ 59,100	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	15,900	△ 15,900	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	32,379,496	653,230	33,032,726	29,207,626	3,825,100	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,492,496	216,000	27,708,496	18,203,050	9,505,446	法人本部経費を含む
内 本俸	24,412,496		24,412,496	15,150,545	9,261,951	給与支払額
社会保険料	2,500,000		2,500,000	2,457,791	42,209	社会保険料事業主負担分
手当計			0		0	
健康診断費	56,000		56,000	23,813	32,187	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000	20,250	3,750	ハマフレンド会費
退職給付引当金繰入額	200,000		200,000	199,776	224	退職共済掛金事業主負担
その他	300,000		300,000	350,875	△ 50,875	
事務費	1,420,000	0	1,420,000	777,060	642,940	法人本部経費は含まない
旅費	50,000		50,000	42,010	7,990	職員 出張交通費
消耗品費	320,000		320,000	98,351	221,649	コピー用紙 文房具 ゴミ袋他
会議用費			0		0	運営協議会 お茶代
印刷製本費			0		0	
通信費	230,000		230,000	207,486	22,514	携帯電話 固定電話 切手代
使用料及び賃借料	500,000	0	500,000	208,790	291,210	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	行政財産目的外使用料
その他	500,000		500,000	208,790	291,210	10万円以上の契約 AED レンタルモップ他
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	222,000		222,000	33,450	188,550	施設賠償責任保険
職員等研修費	48,000		48,000	8,823	39,177	職員研修参加費
振込手数料	50,000		50,000	9,213	40,787	給与 業者振込手数料
リース料			0		0	
手数料			0		0	残高証明書発行手数料
地域協力費			0		0	
公租公課	0	0	0	13,315	△ 13,315	
事業所税			0		0	
内 消費税			0	13,315	△ 13,315	消費税他
印刷紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0	155,622	△ 155,622	燃料費 社労士他顧問料 業務災害保険等
事業費	1,219,000	0	1,219,000	382,584	836,416	法人本部経費は含まない
協力医	630,000		630,000	21,000	609,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	255,000		255,000	10,000	245,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	203,806	△ 49,806	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	100,000		100,000	99,915	85	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	80,000		80,000	47,863	32,137	
その他			0		0	
管理費	2,122,000	170,000	2,292,000	1,805,866	486,134	法人本部経費は含まない
光熱水費	778,000		778,000	1,266,884	△ 488,884	水道光熱費
清掃費	400,000		400,000	183,430	216,570	定期清掃
機械整備費	40,000		40,000	31,046	8,954	機械整備費
設備保全費	814,000	0	814,000	219,030	594,970	
空調衛生設備保守	70,000		70,000	77,071	△ 7,071	空調保守 冷暖房切り替え他
消防設備保守	20,000		20,000	32,340	△ 12,340	消防設備点検
内 電気設備保守	20,000		20,000	22,477	△ 2,477	電気設備点検
害虫駆除清掃保守	4,000		4,000	9,313	△ 5,313	殺虫消毒
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	700,000		700,000	77,829	622,171	自動ドア 昇降機 総合設備巡視点検
共益費			0		0	
その他	90,000		90,000	105,476	△ 15,476	ゴミゼロ 植栽剪定 粗大ゴミ処理
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
その他	0	0	0	267,230	△ 267,230	
内			0	267,230	△ 267,230	職員配置増による購入
支出合計	32,379,496	386,000	32,765,496	21,561,790	11,203,706	
差引	0	267,230	267,230	7,645,836	△ 7,378,606	

自主事業費 収入	0	0	0	74,700	△ 74,700	
自主事業費 支出	589,000	0	589,000	361,584	227,416	
自主事業 収支	△ 589,000	0	△ 589,000	△ 286,884	△ 302,116	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：下田地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収 入	介護保険収入	8,500	7,576	924	6,500	5,821	679	12,500	11,857	643	67,200	58,932	8,268	800	555	245
	その他	0	50	-50	0	0	0	100	88	12	15,400	13,458	1,942	700	151	549
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	通所利用者負担金収入			0			0			0	10,500	7,873	2,627	500	62	438
	通所利用者食事代収入			0			0			0	4,900	4,044	856	200	89	111
	認定調査受託料			0			0	100	28	72			0			0
	補助金収入		50	-50			0		50	-50		465	-465			0
	その他			0			0		10	-10		1,076	-1,076			0
	収入合計(A)	8,500	7,626	874	6,500	5,821	679	12,600	11,945	655	82,600	72,390	10,210	1,500	706	794
支 出	人件費	4,920	3,984	936			0	6,450	9,354	-2,904	62,350	62,856	-506			0
	事務費	72	241	-169			0	600	925	-325	2,565	2,898	-333			0
	事業費			0			0	100	80	20	7,061	6,539	522			0
	管理費			0			0	950	150	800	14,925	13,721	1,204			0
	その他	3,000	2,724	276	2,000	1,068	932	0	33	-33	5,293	2,619	2,674	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0		33	-33		61	-61			0
	介護予防プラン委託料	3,000	2,724	276	2,000	1,068	932			0			0			0
	利用者他給食費			0			0			0	1,500	1,487	13			0
	施設使用料負担金			0			0			0	3,793	657	3,136			0
	減価償却費			0			0			0		414	-414			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	7,992	6,949	1,043	2,000	1,068	932	8,100	10,542	-2,442	92,194	88,633	3,561	0	0	0
収支 (A)－(B)		508	677	-169	4,500	4,753	-253	4,500	1,403	3,097	-9,594	-16,243	6,649	1,500	706	794

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組み	1：優先的に取り組み	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	公園でラジオ体操	令和2年度	7：共催（１と２と３）	1：優先的に取り組み	ラジオ体操を通して地域住民の体力維持及び情報交換の場を目的として開催。	5：地域		ラジオ体操の実施 10:00～ 下田4丁目公園、 10:45～ 日吉本町駅南を会場に実施。	44	1176
2	子育てサロンすてっぷ	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て経験の浅い親とその子供たちを主な対象とし、子供たちを遊ばせながら情報交換の場を提供するとともに子育ての知識を獲得する機会の場を提供する。	3：養育者及び乳幼児		子育てサロン（情報交換のつどい）	23	320
3	喫茶マロニエ亭	平成13年度	7：共催（１と２と３）	1：優先的に取り組み	地域の自立高齢者を主な対象に社会性を保つための外出先の確保と身近な健康チェックを提供する。	1：高齢者		自立高齢者向けミニデイサービス	22	169
4	おはなしもだ	平成27年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	心の病を抱え外出先や悩みの吐き出し先を求めながら生活支援センターまでは通えない当事者や家族が集うサロン。	2：障害児・者		精神講座「こころの病について」	5	34
5	認知症キャラバンメイト「おしゃべり九官鳥」	平成30年度	7：共催（１と２と３）	1：優先的に取り組み	認知症キャラバンメイトと共にサポーター養成講座を開催し地域住民へ認知症に対する理解を深めると共にサポーターとして支える側になってもらうよう、講座を企画・運営する	5：地域		認知症サポーター養成講座の企画・運営 7/5 「知って安心！認知症おせっかい講座」2/4麻雀サークル「あすなろ会」	5	75
6	御食事処すずらん	平成15年度	7：共催（１と２と３）	1：優先的に取り組み	地域の独居高齢者を主な対象に社会性を保つための外出先の確保とバランスの良い食事を提供する。	1：高齢者		独居高齢者食事会	11	117
7	下田メモリーカフェ	平成29年度	7：共催（１と２と３）	1：優先的に取り組み	認知症のある方の通いの場、家族同士の情報交換、相談の場、支援をする方を含めた地域住民に認知症理解の浸透の場を提供	5：地域		ボランティア下田、地域のボランティアと共に開く認知症カフェ	19	149
8	冬休み書初め練習教室	平成21年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域ケアプラザが高齢者だけの施設ではない事を周知するとともに、学校の長期休暇を利用し、児童生徒が参加できる交流の場を提供。	4：子ども・青少年		冬休みの宿題である「書初め」の練習	1	12
9	下田式事例検討会	平成30年度	6：共催（２と３）	1：優先的に取り組み	平素より関わりのあるケアマネジャー同士のスキルアップや情報交換等を目的とした事例検討会を実施	6：事業者		参加者に事例を提供してもらい、その事例をもとに「パーソン・センタード・アプローチ」という手法で、事例検討会を実施。 8月を除く偶数月の第4週木曜に実施	4	27
10	ひよしめケアマネ倶楽部	令和元年度	6：共催（２と３）	1：優先的に取り組み	日吉地区の居宅介護支援事業所と協働で、スキルアップのための勉強会を実施	6：事業者		参加の居宅介護支援事業所と年間テーマを決め、勉強会を実施。今年度は講師招き、アローチャートを行った。	2	54
11	親子de芋ほり体験会	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	未就学児とその保護者を対象に外出先を提供。6月にジャガイモ・10月にサツマイモの収穫を計画	4：子ども・青少年		お芋ほり	2	103
12	行政書士相談会	平成21年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	行政書士による無料巡回相談会。成年後見や遺言相続についての相談対応。	5：地域	1.2 成年後見相談会		1	10
13	成年後見セミナー	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民に対して成年後見制度に関する普及啓発	5：地域	1.2 成年後見の講演会		1	20
14	障がい児余暇支援事業「4DENS」	令和6年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	個別支援級の親子を対象にハンディのある子どもとその保護者がそれぞれ交流を図り、お互いに相談できるような関係づくりの場を提供する。	2：障害児・者		障がい児余暇支援事業	3	30
15	ボランティア&介護予防サークル対象椅子に座って健康ヨガ	令和4年度	7：共催（１と２と３）	1：優先的に取り組み	ケアプラザで活動している介護予防サークルやボランティアの方の健康維持を目的に、筋力の低下を防ぎいつまでも活動して頂くために高齢の方でもイスに座ってできるヨガを紹介する。	1：高齢者		2月19日 介護予防サークル 14名 3月 6日 ボランティア 16名 イスに座ってできるヨガ	2	30
16	心のバリアフリープロジェクト	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	港北区内の法人4館による障がい理解への普及を目的に各館ごとに企画。	5：地域	2 心の病についての普及啓発 3/20「見えなくてもつながれる」		1	18

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組み	2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施 回数	延べ 参加 人数
17	ケアプラザまつり「ケアプラザへ行こう2025」	平成14年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	地域住民の交流の場として、ケアプラザを周知すると共に貸館利用団体及びデイサービス利用者の作品展示。近隣の障がい施設よりお菓子や雑貨の販売も実施。	5：地域		貸館利用者・デイサービス利用者の作品展示	1	500
18	親子リトミック体験会	令和5年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	音楽を通じて体を動かすことで、子どもの力を育む。 音を楽しみながら、表現力・創造力・集中力を養い親子同士の交流をはかる。	3：養育者及び乳幼児		リトミック体験	3	74
19	健康体操講座 (元気づくりST なでしこ)	令和6年度	6：共催（2と3）	2：発展させる ねらい	前年度まで開催していた元気づくりステーション「なでしこ」の後継として簡単な体操や認知症について学ぶ	1：高齢者		4/14 新規募集と元メンバーにも声掛けし、今後の継続について打診 6月以降月1回継続し、今後も継続できるよう支援 → 「月曜クラブ」として自主活動	5	111
20	りらくすヨガ	令和6年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させる ねらい	初心者でも気軽に参加し、住民同士の交流の場としてヨガを企画	5：地域		心と体をゆるめる初心者向けヨガ 終了後、自主サークル「リラヨガ」として活動	5	77
21	「伝える・励ます・つなぐ」災害時の新聞の役割	令和6年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	日本新聞博物館の学芸員を講師に、新聞の歴史から災害時における新聞が果たした役割について講演いただく。	5：地域		学芸員による講演会	1	14
22	メンズシニアのゆっくり筋トレ	令和6年度	3：生活支援 体制整備事業	2：発展させる ねらい	団塊世代の男性をターゲットにしほり、自身の健康に対する維持向上と共に、社会参加のきっかけとして繋がりがつくりや交流を目的として開催	1：高齢者		男性対象の筋力トレーニング 終了後、「サンデー☆健康メンズ筋トレ」として活動	4	39
23	ばびぶ脳トレ	令和6年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させる ねらい	チームオレングの活動の一環として、認知症予防サークル担い手の高齢化やフレイルの方も住み続けている中、新たな担い手発掘と参加に繋がる仕組み作りを目的として開催	5：地域		パソコン、プロジェクターを使つての脳トレ	4	79
24	下田健幸教室 フレイル予防教室	令和6年度	2：地域包括 支援センター運営事業	1：優先的に 取り組み	月に1回、フレイル予防、肩こり・腰痛予防、尿漏れ予防の体操を開催	1：高齢者		フレイル予防となる体操 「健幸教室」5/29.6/19.7/10.9/11.10/9 「フレイル」1/29.2/12.3/12	8	173
25	シルバートミック	令和6年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	転倒予防・誤嚥予防のために歌や筋肉運動、脳トレなどを楽しむことを目的として開催	1：高齢者		歌や運動、脳トレなど音楽に合わせて楽しむ	2	37
26	囲碁将棋「ごしょの間」	令和7年度	5：共催（1と3）	1：優先的に 取り組み	囲碁、将棋を通して地域の方と交流ができる場として開催	5：地域		毎月第2・4土曜日開催 囲碁・将棋のフリースペース	15	91
27	フラダンス体験教室	令和7年度	2：地域包括 支援センター運営事業	2：発展させる ねらい	初心でも参加でき、心身を整える簡単なフラダンス体験	5：地域		7/8 9/9 10/14 予定 初心者向けフラダンス 終了後、「クーレロケラニ」として活動	3	31
28	若年性認知症講演会	令和7年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	若年性認知症の当事者、ご家族の方をお呼びし、体験談や日頃の思いを講演いただく	5：地域		7/14 若年性認知症ご家族の体験談 9/29 若年性認知症当事者の思い 3/1 支援者向け「認知症と共に生きる街づくり」を目指して	3	69
29	人生100年時代の生き生きシニアライフ講座	令和7年度	6：共催（2と3）	1：優先的に 取り組み	長寿時代の新しい生き方の準備と対策をテーマごとに分けて開催	1：高齢者		9/13 健康×生きがい×家庭経済でのライフプラン 9/20 フレイル予防（健康体操） 9/27 家族と自分のために（成年後見制度・老い支度のポイント・エンディングノート）	3	51
30	足爪に関する健康のお話	令和7年度	6：共催（2と3）	1：優先的に 取り組み	爪に関する知識を入れながら生活習慣の見直しなどに繋がるよう啓発を目的に開催	1：高齢者		足爪の機能についての講義やケアについて学ぶ 3/8実施	2	51
31	企業の特徴を生かした地域向け講座 (歌声広場/折り紙/脳トレ) ※メモワール・公文	令和7年度	6：共催（2と3）	1：優先的に 取り組み	企業の特徴を活かした地域向け講座を依頼。趣味の講座を実施し、参加者のニーズを図る事を目的に開催	5：地域		・10/17 折り紙 ・11/7 歌の時間 ・2/1 脳トレ(公文)	3	65
32	ふらっと下田	令和6年度	5：共催（1と3）	2：発展させる ねらい	毎週木曜日に清拭づくり、新聞畳みなど参加者同士がお話しをしながら活動できる簡単なボランティアの場	5：地域		簡単な軽作業ボランティア 9/4よこはまシニアポイントボランティア講習会実施 4名参加	51	338

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組み	2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施 回数	延べ 参加 人数
33	介護者のつどい	平成25年度	2：地域包括 支援セン ター運営事 業	1：優先的に 取り組み	介護をしておられる方々の「つどう場所」として月に1回、下田地域ケアプラザを会場に、先輩介護者の体験談などが聞けます。介護をしておられる方にとって息抜きの場、交流の場。	5：地域		介護者の息抜き、情報交換の場	9	73
34	横浜の歴史を紐解く講座	令和7年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	定年後の男性をターゲットにケアプラザの周知を図る。また地元の歴史を知ることにより地域に興味を持ってもらう	5：地域		横浜の歴史についての講話および日吉地区の歴史町歩き	4	62
35	高齢者施設の選び方	令和7年度	2：地域包括 支援セン ター運営事 業	1：優先的に 取り組み	在宅生活が困難になった時にの為に今から高齢者施設の種類・特徴など理解し今後の生活を考える	5：地域		6/30 高齢者施設の選び方	1	33
36	将来を見据えたお金の学び NISA入門講座	令和7年度	4：共催（1と 2）	1：優先的に 取り組み	人生設計するうえで資産の運用を考えていく時代。正しい知識・情報を知り、今後のプランを考えるきっかけづくりとする。	5：地域		7/31 将来を見据えたお金の学びNISA入門講座	1	15
37	あやめメモリーカフェ	令和7年度	7：共催（1と 2と3）	1：優先的に 取り組み	チームオレンジの一環として、グループホームと連携し地域住民や関係機関とも連携し交流を図って行くことを目的に開催	1：高齢者	5.6	グループホームあやめにて入居者と地域住民と交流を行った。 10/21 2/24	2	48
38	コグニサイズ体験講座	令和5年度	7：共催（1と 2と3）	1：優先的に 取り組み	運動とともに簡単な脳トレで、脳の機能を活性化し認知症の予防と健康促進を目指します。	1：高齢者		運動と簡単な脳トレ	1	17
39	ボールウォーキング体験	令和7年度	7：共催（1と 2と3）	1：優先的に 取り組み	体力の維持向上を目指し、健康に関するミニ講座とボールウォーキング、筋トレ、ストレッチ、ボールエクササイズ等を楽しむ事を目的に開催	1：高齢者		ボールウォーキングの基礎と実際に体験を行っていく。 1/28 体験会 2/25 3/11 2回講座	3	29
40	女性のためのヘルスケア講座	令和7年度	7：共催（1と 2と3）	1：優先的に 取り組み	女性はライフステージが変わるにつれ、からだと心の健康が変化することを正しく理解して、様々な対処方法を学び外出が楽しめる体づくりの支援を目的に開催。	1：高齢者		尿漏れの予防やケアを学び、実際に体を動かして実践していく 2/22 3/22 全2回	2	34
41	姿勢で変わる大人の歩き方	令和6年度	7：共催（1と 2と3）	1：優先的に 取り組み	働く世代や男性にも意識付けとして、いつまでも健康でいられるよう歩き方を学び今後の抱い手発掘やフレイル予防に繋がることを目的として開催	5：地域		毎日の生活がエクササイズになる歩き方を身につくよう講師から歩き方のポイントを学ぶ	3	41
42	私のお金はおろせるの？ ～本人と家族のためのお金の 備え～	令和7年度	7：共催（1と 2と3）	1：優先的に 取り組み	詐欺被害等が増加傾向にあり、金融犯罪に対する啓発と認知症に対するお金の備えについて、横浜銀行の取り組みや対策など知ってもらう事を目的に開催	5：地域		・金融犯罪の最新手口とその対策 ・相続の話 ・認知症へのそなえ	1	20